

令和8年度 第1回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. **開催日時** 令和8年4月22日(水) 9時00分から11時25分まで
2. **開催場所** 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. **出席委員** 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、安富 小織、鈴木 涼介、
安藤 祐典
4. **欠席委員** なし
5. **オブザーバー** 財津 浩利 (東部協働センター 所長)
6. **学 校** 松下 欣美 (校長)、大澤 真一郎 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、
泉澤 孝典 (生徒指導主任)、坂倉 祥子 (CSディレクター)

7. **傍聴者** なし

8. **会議録作成者** CSディレクター 坂倉 祥子

9. 会長の選出及び副会長の指名

司会から会長の選出について委員に意見を求めたところ、伊藤委員から尾上委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10. 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、伊藤委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止基本方針について
- (3) 今年度の目標の決定
- (4) 夢育やらまいか事業 (CS加算分) に対する意見書について

12. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

尾上委員 示された方針に賛同し、私たちに何が出来るのかをともに考えていきたい。

熟議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について

議長の指示により、生徒指導主任より、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

伊藤委員 誰にも相談できない子どもへの対応が重要だと感じる。希望があれば、本校でも学年に合わせた人権教室を実施出来ればと考えている。

尾上委員 相談することの大切さを学ぶ練習や経験が必要なのではないか。自分の感情への対処方法を学び、失敗しても相談できる環境づくりには保護者の理解が必要不可欠だと感じる。

鈴木委員 まずは子どもたちとの信頼関係を築き、安心できる環境を整えることが大切だと思う。相談をする練習の場を含め、窓口や気持ちの吐き出し口を作っておくことが出来たらよい。

安富委員 周囲と関係性を築くことが大切であり、いじめの受け取り方や子どもから保護者への伝え方の問題もあるため、保護者の理解が重要。それらを踏まえた環境づくりが不可欠ではないか。

安藤委員 いじめの定義が日常トラブルにまで広がる中、大人が解決を代行して子供の思考を止めることにならないよう、感情の一致は難しくとも互いの「利害の一致」による解決を体験させ、自ら社会性を学べるようになることが重要なのではないか。

酒井委員 席替えが多いクラスでは、いじめの発生率が下がるという事例がある。こうした取り組みも含め、いじめの発生を抑える工夫が必要だと思う。

湯山委員 学校・家庭・地域が気軽に相談できる開かれた場所の必要性を感じる。ワンクッション置ける場があることで、冷静に対応を考えるクールダウンにもつながるのではないか。

熟議の結果、いじめ未然防止のために、まずは現在のいじめの定義を家庭・地域でも共通理解として持つ必要がある。その上で、相談の練習や開かれた居場所づくりを通じて子ども自身が良好な関係を築く術を学びながら、安心してSOSを出せる環境を学校・家庭・地域で整えていくことを確認した。

なお、時間の都合により熟議には至らなかったが、事前の意見書にて以下の具体的な提案がなされた。

安富委員 家庭での会話のきっかけ作りとして、感謝の言葉や友人の話を家庭でする「ミッション」や、親子で学校生活について語り合う「ミニカード」の活用。また登下校時の見守りボランティアの強化や、地域で相談が出来る人のリスト化、交流行事の実施など、学校外で交流の場を作る。

湯山委員 日常的な声掛けや挨拶を通じて子どもの変化を捉えるとともに、自らも地域行事への積極的な参加や発信を工夫するなど、保護者と地域が相談し合える関係を築きたい。

(3) 今年度の目標の決定

熟議の結果、今年度の目標は「学校・子ども・先生・地域の一体感を広げよう」とする事で一致した。

(4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

議長の指示により教頭から、別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業について説明があった。

連絡事項

(1) 学校支援コーディネーターの安富さんより、学校支援ボランティアの活動報告がなされた。

(2) 校長より、以下4点についての説明があった。

①運動場のサッカーゴールやスパイク使用についての変更点。 ②多目的トイレの名称の変更

③夏季のヘルメットの着用とネッククーラーの使用に関して ④ラーケーション

その他報告

次回会議は、令和8年7月24日（金）13時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。また今後の学校公開、さとっこ運動会・参観会についての案内があった。